

令和6年度 瀬戸市地域産業振興会議
総会

第1号議案

役員 の 指 名 に つ い て

瀬戸市地域産業振興会議規約第11条第2項の規定に基づき副会長、会計担当理事、監事を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
副会長	愛知県陶磁器工業協同組合	理事長	中野 昭雄
副会長	瀬戸暁工業団地協議会	会長	森下 幸雄
副会長兼 会計担当理事	瀬戸市	副市長	大森 雅之
監事	瀬戸市穴田企業団地連絡協議会	会長	佐野 嘉崇
監事	瀬戸金融協会	会長	成田 順一

瀬戸市地域産業振興会議規約第13条第2項の規定に基づき顧問を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
顧問	国立大学法人名古屋工業大学	学長	小畑 誠
顧問	瀬戸市議会	議長	小澤 勝
顧問	瀬戸市	市長	川本 雅之

瀬戸市地域産業振興会議規約第14条第2項の規定に基づき参与を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
参与	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	所長代理	加藤 且也
参与	独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	平野 修一
参与	一般財団法人 ファインセラミックスセンター	専務理事	獅山 有邦
参与	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 瀬戸窯業試験場	場長	加藤 正樹
参与	経済産業省中部経済産業局 産業部 産業振興課	課長	今野 直明
参与	愛知県 経済産業局 産業部 産業政策課	課長	田口 秀春
参与	瀬戸公共職業安定所	所長	坂梨 範子

第2号議案

令和5年度瀬戸市地域産業振興会議 事業報告

1. 会議の開催

総会1回、幹事会2回

期 日	名 称	内 容
令和5年 4月27日(木)	第1回 幹事会	1 令和5年度瀬戸市地域産業振興会議総会の開催について
5月18日(木)	総 会	1 令和5年度瀬戸市地域産業振興会議事業計画(案)について 2 令和5年度瀬戸市地域産業振興会議収支予算(案)について
10月20日(金)	第2回 幹事会	1 令和5年度事業実施状況について 2 瀬戸市企業ガイドについて

2. 産業支援・交流事業

(1) 「産業支援センターせと」での支援策等

① コーディネーター・相談員による定例相談、企業訪問

定例相談による新事業展開、販路開拓、補助金活用等のアドバイスのほか、市内事業者の課題解決や市内での取引拡大、新商品開発、協働した製品・技術開発等の契機となるよう、交流事業を強化するとともに、雇用促進の取り組みを強化した。

また、令和5年度から、市内事業者が経営課題について専門家により相談しやすくなるよう、相談窓口を瀬戸商工会議所内へ移設し、連携を強化した。

相談内容	開催日	コーディネーター／相談員	令和5年度実績 (令和4年度実績)
a. 新事業展開、 販路開拓相談	事前シフト制 による月9回 のほか、事前予 約制で随時対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・新事業支援コーディネーター ・技術支援コーディネーター ・新事業・事業承継支援コー ディネーター ・経営革新・補助金支援コー ディネーター ・デザイン・人材確保支援 コーディネーター 	来所 151件(31件) 電話 10件(109件) 事業者訪問50件(122件)
b. 技術相談、 知的財産・ IT相談			
c. 創業支援 相談	原則、火曜日	・創業支援コーディネーター	来所 142件(137件)

② 施設利用サービスの提供（廃止）

交流スペースの施設の更なる活用を促進するため、施設利用サービス及び備品サービスの提供を廃止し、当該スペースを産業関係者に限らず、利用の拡大を図った。

③ 瀬戸商工会議所による専門相談

瀬戸商工会議所において、「中小企業融資相談」、「税務相談」、「経営相談」をはじめとする定例無料相談を実施した。

※ 令和5年度 利用者数延べ374名(令和4年度 利用者数延べ730名)

④ 生成AIを活用したPRツール作成の簡単スキルアップセミナー

AIとITツールで高品質なPRツールを活用し、フライヤー・プレゼン資料などを作成できるノウハウを取得することを目標としたスキルアップセミナーを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和5年 11月24日(金) 15:00~17:00	瀬戸蔵4階 会議室4	14名	自社のコンテンツを整理する ・PRツールの整理 ・ペルソナ・カスタマージャーニーの作成と意見交換 ・AIを使ったコンテンツ作成体験 講師 デジタル拡販アドバイザー 中小企業診断士 鈴木 将路 氏 (全回共通)
12月1日(金) 15:00~17:00		15名	主流なAIツールを理解する ・生成AI・デザインサービスの紹介 ・AIとPRツールの相性検討 ・AIを用いたPRツール作成
12月8日(金) 15:00~17:00		13名	AIツールをより使いこなす ・検索ワード/プロンプトのコツ ・PRツール発表とフィードバック ・AIの未来の方向性と活用方法まとめ

⑤ 雇用関係助成金 徹底活用セミナー

令和5年度最新の助成金を中心に、おすすめ助成金と受給事例、助成金を活用した労務管理、最新の助成金動向を解説する助成金活用セミナーを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和5年 9月15日(金) 13:30~15:30	瀬戸蔵4階 会議室4・5	14名 うちオンライン 5名	雇用関係助成金 経営に役立つ助成金活用セミナー 講師 社労士法人LINK 代表 松崎 章 氏

⑥ 中小企業関連施策説明会－経済産業省等が実施する中小企業支援施策について－

国の支援制度の利用促進を図るため、令和6年度に実施が予定されている中小企業支援施策の説明会を開催した。併せてチームや企業の業績アップにつながる、ウェルビーイング志向のチームづくり等についてセミナーを開催した。

(瀬戸市地域産業振興会議、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫共催事業)

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和6年 2月14日(水) 13:30～16:30	文化センター 22会議室 オンライン	52名 うちオンライン 28名	1 中小企業に関する支援施策について 講師 中部経済産業局産業部産業振興課 課長 稲垣 香代子 氏 2 幸せなチームが結果を出す～人生100年時代を幸 せに生き、幸せに働くために～日々の小さなことから 始めよう！ 講師 EVOL株式会社 代表取締役CEO 前野 マドカ 氏

(2) デジタル化推進事業 (新規)

業務効率化ITツールを活用して業務効率化や生産性向上を行うため、主に複数の従業員を雇用する中小企業者を対象に、専門のコーディネーターが課題の明確化、課題解決のためのITツールの提案、導入支援までの3回の相談を1セットとした支援を行った。

※令和5年度 利用件数3件(7回)

(3) SDGsブランディング事業

1事業者あたり3回の相談を1セットとし、市内事業者の事業をSDGsの観点で再定義し、発信用WEBページを作成した。また、その内容を産業支援センターせとのホームページに掲載し、対外的にPRした。

※令和5年度 利用件数4件(12回)(令和4年度 利用件数4件(12回))

(4) 事業者支援パンフレット作成

市内事業者の経営環境改善に向けた取り組みを支援するため、市内事業者が利用できる補助制度等を1冊にまとめたパンフレットを作成し、市内金融機関の窓口など関係機関と連携し、支援制度の啓発を図った。

(5) 専門家派遣事業補助金

経営改善に取り組む意欲がある市内事業者の経営力を強化するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構又は公益財団法人あいち産業振興機構の専門家派遣事業に係る費用の一部を助成。

(補助対象経費の2分の1、上限20万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

※令和5年度 利用件数0件(令和4年度 利用件数0件)

(6) 展示会出展費助成事業（展示会等出展事業補助金）

市内事業者が国内の展示会・見本市等に出展する場合に出展費用の一部を助成した。
(補助対象経費の2分の1、小売りを目的としない国内の展示会等への出展に対しては上限20万円、海外の展示会等への出展や渡航に対して上限40万円、小売りを目的とする展示会等への出展に対して上限6万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

※令和5年度 利用件数22件（令和4年度 利用件数17件）

(7) 知的財産登録費助成事業（知的財産権登録事業補助金）

知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権及び商標権）の登録に係る費用の一部を助成した。

(補助対象経費の2分の1、上限15万円、同一事業者への交付は同一年度内で2件まで15万円を限度とし、通算3年度まで)

※令和5年度 利用件数5件（令和4年度 利用件数4件）

(8) 業務効率化ITツール導入支援事業（業務改善ITツール導入補助金）（新規）

デジタル化推進事業を活用して業務効率化ITツールを導入する事業者に対し、導入に係る費用の一部を助成した。

(補助対象経費の全額、上限10万円、1事業者1回限り)

※令和5年度 利用件数2件

(9) 情報発信事業

① 企業向け支援施策、セミナー開催等の情報提供

セミナーや国・県・市の支援制度について、産業支援センターせとのホームページに掲載するとともに、メールマガジンだけでなく、新たにInstagramで情報提供を行った。

産業支援センターせとのホームページ及びInstagramの閲覧機会向上のため、新たにフライヤーの作成を行った。

② 地元企業のPR支援

産業支援センターせとホームページの「瀬戸市企業ガイド」について、関係機関と連携して掲載企業の情報を最新の状態に更新するとともに、新たな企業を登録した。

※令和5年度 新規登録3件（令和4年度 新規登録5件）

※最終掲載件数 109件

③ 金城学院大学と連携した情報発信事業

金城学院大学と連携し、女子大学生が主体的に市内企業及びせと・しごと塾卒塾生の取材を行い、ラジオ放送、映像コンテンツ、ソーシャルメディア等を通して、若年層向けの情報発信を行った。

令和5年度は新たな取り組みとして、より職場の雰囲気や魅力が伝わるように座談会形式で取材を行った。

※毎月第3金曜日にRADIO SAN-Qに出演、同内容をFacebook、Instagramに投稿

※令和5年度 市内企業レポート6件、せと・しごと塾卒塾生レポート6件

(10) 海外展開支援

海外展開を目指す事業者に海外ビジネスのノウハウを提供するため、ジェトロと連携し、輸出の始め方や海外販路開拓などに関するセミナー、相談会等を開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和5年 12月6日(水) 14:00~15:00	瀬戸蔵4階 会議室4・5	13名	1 「輸出を始めてみませんか〜ジェトロサービスを活用して〜」 講師 ジェトロ名古屋貿易情報センター・ 貿易投資アドバイザー 桐山 行彦 氏 2 「オンラインツールを用いた海外販路開拓はじめの一步 ~JAPAN STREETとTAKUMI NEXT~」 講師 ジェトロ名古屋貿易情報センター・ デジタルマーケティング担当 川本 圭子 氏

(11) 新商品発掘・創出支援事業（新商品発掘創出支援事業補助金）

市内事業者の新商品の発掘・創出を支援するため、瀬戸商工会議所と連携し、開発に向けたセミナーを開催するとともに、創出に係る費用の一部を助成した。

（補助対象経費の3分の2、上限10万円）

※令和5年度 利用件数15件 （令和4年度 利用件数15件）

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和5年 8月17日(木) 14:00~15:30	瀬戸商工会議所	13名	「売れる商品設計を支援！マーケティングセミナー」 講師 株式会社JapanFoodExpert 代表取締役/食プロデューサー 長田 絢 氏

3. 産学・産産連携事業

(1) 大学及び研究機関等との産学連携

技術支援コーディネーターのネットワークを活用し、大学等の研究成果（シーズ）と市内事業者のニーズとのマッチングの機会を提供するほか、技術開発や人材交流に向けた関係づくりを支援した。

・産業支援センターせと技術支援コーディネーターの活用

定例相談や企業訪問により企業の課題や要望を把握し、これらに即した具体的アドバイス、研究機関、行政機関とのコーディネートや課題に適合する補助金・融資制度等の紹介を行った。

(2) 名古屋工業大学連携事業

① 企業見学会

市内企業と名古屋工業大学及び学生の雇用に関するネットワークを構築し、市内企業への就業を促進するための企業見学会を開催した。

開催日	見学先企業	参加者数
令和5年 5月8日（月）	河村電器産業株式会社 ホーユー株式会社	31名
5月11日（木）	朝日インテック株式会社 伊藤忠セラテック株式会社	39名

② サテライトキャンパスの開催 **（新規）**

名古屋工業大学のセラミックス工学分野と連携し、地域の産業界に研究成果を共有するための取り組みとして、主に愛知県陶磁器工業協同組合のファインセラミックス部会と内容を協議し、サテライトキャンパスの開催に向けて調整を行った。また、AI×製造業をテーマに、AIに精通した中小企業診断士によるデータ分析、AI導入、IT活用に関するセミナーを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和5年 8月29日（火） 14:00～15:30	文化センター 22会議室	14名	「AI×Manufacturingセミナー」 講師 合同会社SORAサクライ 代表 櫻井 敏明 氏

(3) 新事業展開・技術開発費助成事業（新事業展開・技術開発支援事業補助金）

市内事業者が行う新事業展開、新製品・新技術の研究及び開発に対して、大学・公的研究機関等との技術開発を目的とする共同研究、委託研究、材料や製品の分析、測定等を行う依頼試験に要した経費（経費の合計額が1万円未満の場合は対象外）の一部を助成した。

（補助対象経費の2分の1、上限30万円、ただし、大学等研究機関との契約を有しない依頼試験等に対しては上限10万円、同一事業者への交付は同一年度内で各区分において定めた額を限度とする）

※令和5年度 利用件数2件（令和4年度 利用件数4件）

4. 人材育成・雇用促進事業

(1) セミナー・講習会の開催

① 瀬戸商工会議所講習会

瀬戸商工会議所において、「経営革新セミナー」、「Canva で実践 起業に役立つデザイン講座」、「経営基礎力向上セミナー」、「観光客目線で考える！新商品開発セミナー」、インターネットによる映像視聴で経営情報を学ぶ「Web セミナー」等の各種講習会を開催した。

※令和5年度 参加者数延べ149名（令和4年度 参加者数延べ283名）

② 人材採用・定着セミナー

人材採用・定着に焦点を当て、人材採用の戦略や人材を定着させる取り組みについて実際の事例紹介を交えたセミナーを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和6年 3月15日（金） 13:30～16:30	瀬戸商工会議所 大会議室	17名	人材採用セミナー 講師 キャリアコンサルタント 岩崎 千夏 氏

(2) テレワーク導入費補助事業

複数の従業員を雇用する中小企業のテレワーク導入を支援するため、導入時に必要となる備品等の費用の一部を助成。

（対象経費の2分の1、上限20万円）

※令和5年度 利用件数0件

(3) 中小企業者研修費助成事業

中小企業の人材を育成するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する研修を受講した場合に、受講料の一部を助成した。

（受講料の2分の1、上限5万円）

※令和5年度 利用件数2件（令和4年度 利用件数1件）

(4) 雇用対策事業

市内事業者が抱える雇用における課題の解消に向けて、名古屋市内で近隣8市町合同による地元企業就職ガイダンスを開催（出展企業91社、うち市内企業18社）するなど、ハローワークと連携した事業を実施した。

(5) 企業訪問事業

産業支援センターせとのコーディネーターとハローワークの職員が連携して企業を訪問することで、人材確保支援や雇用に係る助成金活用等のアドバイスを行った。

(6) インターンシップ支援事業

名古屋産業大学等と連携し、複数の市内企業に1DAYインターンシップへの参画を得て、学生が多く企業で学べる機会を提供する市内企業連携インターンシッププログラムを実施した。

開催日	内容	参加者数
令和5年 7月24日(月)	企業向け事前説明会 宗和工業株式会社 DAITO株式会社 富士特殊紙業株式会社 瀬戸ガス水道株式会社	4社
8月24日(木)	学生向け事前説明会	4名
8月28日(月) ～9月1日(金)	インターンシップ 8月28日(月) 宗和工業株式会社 8月29日(火) DAITO株式会社 8月31日(木) 富士特殊紙業株式会社 9月1日(金) 瀬戸ガス水道株式会社	3名
9月8日(金)	成果発表	2名

(7) せとまちマッチング事業 (新規)

学生、市内企業によるマッチングリストを作成し、リストに登録した学生と市内企業がLINEを利用して、インターンシップや企業見学会などの情報を共有した。

制度の更なる普及促進を図るため、学生向けのフライヤーを新たに作成し、県内大学等のキャリアセンターや市内外各所に配置するとともに、就職フェア等での配布を行った。

(8) 未来創造たまご塾 in せと (新規)

瀬戸キャリア教育推進協議会及び瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、市内の小・中学生と起業家や市内企業との交流を通して、地域経済の発展に欠くことのできない新たな価値創造ができる人材を育成し、市内企業の人材確保につなげていくワークショップを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容
令和5年 9月3日(日) 10:30～12:30 14:00～16:00	瀬戸蔵4階 多目的ホール	27名	10:30～12:30(小学校5・6年生) 14:00～16:00(中学校1～3年生) 企画運営 株式会社外会社ドングルズ 協力 株式会社加藤工務店 合資会社マルワイ矢野製陶所 株式会社ニッコーインテック ピノバージョン株式会社 株式会社HALO 株式会社U-MAP

5. 創業支援事業

(1) せと・しごと塾

地域の需要や課題をビジネスの視点でとらえた「地域ビジネス」の創業に必要な知識を、座学と実践の両面から学ぶ機会や和歌山の起業家との交流の場を提供し、起業家を輩出する環境づくりを行ったほか、起業の輩出・促進支援としてセミナーを開催した。

第15期概要 開催期間 令和5年7月5日(水)～11月21日(火)
 卒塾数 19名(男性7名 女性12名)
 内容 座学 16日17コマ
 実学 事業概要発表会(8月31日(木)3分間の事業PR)
 事業計画発表会(11月21日(火)5分間の事業PR)

(2) セミナー等

名称	開催日時	会場	参加者数	内容・講師
起業セミナー	令和6年 2月29日(木) 13:30～16:00	瀬戸蔵4階 多目的ホール	23名	1 起業のポイント 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 卒塾生によるパネルディスカッション ファシリテーター 小坂英雄氏 パネラー 大城千映子氏(14期生) 深見太一氏(15期生) 3 創業支援施策紹介
せと・創業カフェ(1回目)	令和5年 12月18日(月)	瀬戸商工会議所	9名	1 商圈分析 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 交流会
せと・創業カフェ(2回目)	令和6年 3月11日(月)	瀬戸商工会議所	10名	1 起業家のためのネーミング講座 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 交流会

(3) 創業支援事業

創業相談に実績があるせと・しごと塾塾長の小坂英雄氏及び講師の柴田朋子氏が、創業支援マネージャーとして産業支援センターせとにおいて創業相談を行い、創業希望者や創業者への助言及び指導を実施した。

※令和5年度 計42回

第3号議案

令和5年度瀬戸市地域産業振興会議 収支決算報告

【収入】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	2,958,744	2,958,744	
負 担 金	19,038,000	19,038,000	瀬戸市 18,000,000 瀬戸商工会議所 386,000 愛知県陶磁器工業協同組合 386,000 瀬戸暁工業団地協議会 78,000 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会 78,000 愛知県珪砂鉍業協同組合 39,000 瀬戸金融協会 39,000 瀬戸市商店街連合会 8,000 愛知県トラック協会尾東支部 8,000 日の出企業会 8,000 山の田企業懇話会 8,000
事業者負担金	0	0	
雑 収 入	1,256	10,069	預金利子他
基 金	100,000	0	瀬戸市地域産業振興基金
合 計	22,098,000	22,006,813	

【支出】

(単位：円)

括弧内：主な事業（内数）

科 目	予算額	決算額	備 考
会 議 費	5,000	8,181	
事 業 費	21,208,000	17,465,716	産業支援・交流事業 13,750,667 (内訳) 謝金・旅費 2,920,150 (専門相談) 2,920,000 印刷製本費 107,450 通信運搬費 249,933 資料購入費 44,272 委託料 6,430,526 (コーディネーター等委託) 2,150,000 (デジタル化推進) 231,000 (SDGsプランディング) 528,000 (交流事業) 440,000 (新商品発掘創出支援) 1,884,599 補助金 3,731,100 (専門家派遣) 0 (展示会等出展) 2,363,000 (知的財産権登録) 245,000 (テレワーク導入) 0 (業務効率化) 22,000 (新商品発掘創出支援) 1,101,100 備品購入費 114,070 消耗品費 138,336 雑費 14,830 産学・産産連携事業 1,253,389 (内訳) 謝金・旅費 6,739 委託料 650,000 補助金 595,000 雑費 1,650 人材育成・雇用促進事業 2,461,660 (内訳) 謝金・旅費 1,033,560 印刷製本費 518,650 委託料 258,500 補助金 83,400 負担金 567,000 雑費 550
事 務 費	20,000	10,000	産業支援センター運営事務費
還 付 金	407,000	407,000	
基金積立	300,000	2,000,000	瀬戸市地域産業振興基金
予 備 費	158,000	0	
合 計	22,098,000	19,890,897	

※次年度繰越金 収入決算額 (22,006,813 円) - 支出決算額 (19,890,897 円) = 2,115,916 円

《特別会計》 創業支援事業 収支決算報告

【収入】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
負 担 金	2,200,000	2,200,000	瀬戸市からの負担金
雑 収 入	100,000	110,013	受講費5,000円×22、預金利子13円
合 計	2,300,000	2,310,013	

【支出】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
事 業 費	2,300,000	2,155,617	謝金・旅費 707,040 委託料 1,080,420 消耗品費 36,777 備品購入費 220,440 使用料 98,950 雑費 11,990
合 計	2,300,000	2,155,617	

※次年度繰越金 収入決算額 (2,310,013 円) - 支出決算額 (2,155,617 円) = 154,396 円

財産に関する調書

1 基金

(1) 瀬戸市地域産業振興基金

前年度末現在高	決算年度末現在高	決算年度中 増 減 高	増減理由
4,744,757 円	6,744,832 円	+2,000,075 円	・ 基金積立 2,000,000 円 ・ 預金利子 75 円

監査報告

令和5年度における瀬戸市地域産業振興会議の会計帳簿及び証拠書類について監査した結果、適正であると認める。

令和 6 年 5 月 15 日

監事 瀬戸金融協会

会 長

監事 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会

会 長

第4号議案

令和6年度瀬戸市地域産業振興会議 事業計画 (案)

《基本方針》

瀬戸市地域産業振興会議の目的である活力ある地域経済と豊かなまちづくりの実現のため、「産業支援・交流」、「産学・産産連携」、「人材育成・雇用促進」、「創業支援」の4テーマを柱に据え各種事業を展開していく。

令和6年度は、市内事業者の課題解決や生産性向上、新商品開発、技術開発等の支援を行うとともに、職場の魅力向上等による雇用対策の取り組みを行う。

1. 産業支援・交流事業

(1) 「産業支援センターせと」での支援策等

① コーディネーター・相談員による定例相談、企業訪問

定例相談による新事業展開、販路開拓、補助金活用等のアドバイスのほか、企業訪問による案件発掘及びフォローアップ、支援機関へのコーディネート等を実施する。

令和6年度も引き続き、市内事業者が経営課題について専門家により相談しやすくなるよう、相談窓口を瀬戸商工会議所内で開設し、連携を強化する。

相談内容	開催日	コーディネーター／相談員
a. 新事業展開、 販路開拓相談	事前シフト制による月 12回のほか、事前予約 制で随時対応	・新事業支援コーディネーター ・技術支援コーディネーター ・新事業・事業承継支援コーディネーター ・IT支援コーディネーター ・補助金支援コーディネーター
b. 技術相談、 IT・知財相談		
c. 創業支援相談	原則、毎週火曜日	・創業支援コーディネーター
d. 経営相談	事前予約制	・瀬戸商工会議所 中小企業相談所職員 ・瀬戸金融協会所属 中小企業診断士
e. 海外展開・創業相談		

② 瀬戸商工会議所による専門相談（経営、法律、特許、税務、IT活用等の各種相談）

従来からの融資や税務相談に加え、インボイス制度や電子帳簿保存法等の申請に向けた事業環境の変化などに対応した相談窓口の充実を図る。

③ セミナーの開催

市内事業者の新事業展開、販路拡大、IT技術導入等の取り組みを支援するために、各種セミナーを開催する。

(2) 事業者支援パンフレット作成

市内事業者の経営環境改善に向けた取り組みを支援するため、市内事業者が利用できる補助制度等を1冊にまとめたパンフレットを更新する。作成後は、市内金融機関窓口へ情報提供を行うとともに、関係機関と連携し関係各所へ配置するなど、制度の啓発を図る。

(3) 外部人材・専門家派遣活用事業補助金 (拡充)

経営改善に取り組む意欲がある市内事業者の経営力の強化するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構又は公益財団法人あいち産業振興機構の専門家派遣事業に係る費用の一部の助成に加え、自社の課題解決のため業務委託により外部人材を活用する費用の一部を助成するとともに、外部人材の積極的な活用について普及啓発を行う。

(補助対象経費の2分の1、上限20万円(外部人材活用の場合は10万円)、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

(4) 販路拡大事業補助金 (拡充)

市内事業者が国内の展示会・見本市等に出展する場合に出展費用の一部の助成に加え、技術PR用動画の作成費用や企業間取引(BtoB)向けビジネスマッチングサイトへの掲載費用も対象とする。また、チャレンジ枠として初出展の展示会に限り、上限額を拡大する。

(補助対象経費の2分の1、小売りを目的としない国内の展示会等への出展に対しては上限20万円(初出展の場合は30万円)、海外の展示会等への出展や渡航に対して上限40万円、小売りを目的とする展示会等への出展に対して上限6万円、ビジネスマッチングサイトへの掲載に対して上限20万円、技術PR用動画作成に対して上限10万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

(5) 知的財産登録費助成事業（知的財産権登録事業補助金）

知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権及び商標権）の登録に係る費用の一部を助成する。

（補助対象経費の2分の1、上限15万円、同一事業者への交付は同一年度内で2件まで15万円を限度とし、通算3年度まで）

(6) 職場環境づくり応援事業（職場環境づくり応援事業補助金）（拡充）

多様な従業員の働きやすい職場環境を整えることにより、生産性向上や雇用定着・確保の促進を図るため、産業支援センターせとのコーディネーターによる伴走支援を行うとともに、事業に要する費用の一部を助成する。

（下記①から③を組み合わせ活用可能。上限50万円、1事業者1回限り）

①労働衛生整備事業（新規）

事業の用に供している市内の建物において、職場の労働衛生を整備する設備の新設又は増設に係る費用の一部を助成する。

（補助対象経費の2分の1、上限30万円）

②業務改善ITツール導入支援事業

情報管理及びコミュニケーションの向上が図られる業務改善ITツールを導入する費用の一部を助成する。

（補助対象経費の全額、上限10万円）

③テレワーク導入促進事業

働き方改革のためにテレワークを導入する費用の一部を助成する。

（補助対象経費の2分の1、上限20万円）

(7) 情報発信事業

① 企業向け支援施策、セミナー開催等の情報提供

セミナーや国・県・市の支援制度について、産業支援センターせとのホームページに掲載するとともに、メールマガジンの送信及びインスタグラムでの配信により情報提供を行う。

② 地元企業のPR支援

産業支援センターせとホームページの「瀬戸市企業ガイド」で市内企業の魅力をPRする。

③ 金城学院大学と連携した情報発信事業

金城学院大学と連携し、女子大学生が主体的に市内企業及びせと・しごと塾生の取材を行い、ラジオ放送、映像コンテンツ、ソーシャルメディア等を通して、若年層向けの情報発信を行う。

今年度は引き続き座談会形式で取材を行うとともに、ターゲットとなる学生を意識し、新たに縦型のショート動画を作成することで情報発信の強化に取り組む。

(8) 海外展開支援

海外展開を目指す事業者に海外ビジネスのノウハウを提供するため、ジェトロや瀬戸金融協会と連携し、関心の高い地域への販路開拓などに関するセミナー、相談会等を開催する。

(9) 新商品発掘・創出支援事業（新商品発掘創出支援事業補助金）

市内事業者の新商品の発掘・創出を支援するため、開発に向けたセミナーを開催する。
また、創出に係る費用の一部を助成する。

（補助対象経費の3分の2又は2分の1、上限5万円）

2. 産学・産産連携事業

(1) 大学及び専門学校との産学連携

技術支援コーディネーターのネットワークを活用し、大学等の研究成果（シーズ）と市内企業のニーズとのマッチングの機会を提供するほか、技術開発や人材交流に向けた関係づくりを支援する。

(2) 名古屋工業大学連携事業

① 市内企業見学会の開催

市内企業と名古屋工業大学及び学生の雇用に関するネットワークを構築し、市内企業への就業の促進を図るため、企業見学会を開催する。

② サテライトキャンパス（出張講義）の開催

名古屋工業大学のセラミックス工学分野をはじめとした研究成果（シーズ）を市内企業に普及することで、地域産業の発展に資するため、講師陣による出張講義の開催に向けて調整を図る。

(3) 産学・異業種連携促進事業

教育・研修機関との産学連携や異業種連携を推進する。

(4) 新事業展開・技術開発費助成事業（新事業展開・技術開発支援事業補助金）

市内事業者が行う新事業展開、新製品・新技術の研究及び開発に対して、大学・公的研究機関等との技術開発を目的とする共同研究、委託研究、材料や製品の分析、測定等を行う依頼試験に要した経費（経費の合計額が1万円未満の場合は対象外）の一部を助成する。（補助対象経費の2分の1、上限30万円、ただし、大学等研究機関との契約を有しない依頼試験等に対しては上限10万円、同一事業者への交付は同一年度内で各区分において定めた額を限度とする）

3. 人材育成・雇用促進事業

(1) セミナー・講習会の開催

① 瀬戸商工会議所講習会事業

瀬戸商工会議所において、パソコンや税務等に関する講習会を開催する。

② その他セミナー・講習会の開催

市内事業者を対象に、働き方改革関連の助成金活用や、事業承継対策等を目的とした個別相談会及び講習会を開催する。

(2) 中小企業者研修費助成事業

中小企業の人材を育成するため、従業員や経営者の各種研修の受講を支援する。独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する研修を受講した場合に、受講料の一部を助成する。(受講料の2分の1、上限5万円)

(3) 雇用対策事業

近隣8市町合同による名古屋市内での地元企業就職ガイダンスの開催や、求職者に対して市内企業をPRするための企業ガイドブックの配布など、市内事業者が抱える雇用における課題の解消に努める。

また、企業の採用活動が多様化、複雑化していることから、瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、より効果的な雇用対策事業について検討していく。

(4) 企業訪問事業

産業支援センターせとのコーディネーターとハローワークの職員が連携して企業を訪問することで、人材確保支援や雇用に係る助成金活用等のアドバイスを行う。

(5) インターンシップ支援事業

名古屋産業大学等と連携し、複数の市内企業に1DAYインターンシップへの参画を得て、学生が多く企業で学べる機会を提供する市内企業連携インターンシッププログラムを実施する。

(6) せとまちマッチング事業

学生、市内企業によるマッチングリストを作成し、リストに登録した学生、市内企業がツールを利用することで、企業見学会、社員との懇談会などの情報を共有し、お互いを知る機会を提供する。また、まち巡りなどの瀬戸市の情報を提供し、就職する地域の魅力を発信する。

(7) 未来創造たまご塾 in せと

瀬戸キャリア教育推進協議会及び瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、市内の小・中学生と起業家や市内企業との交流を通して、地域経済の発展に欠くことのできない新たな価値創造ができる人材を育成し、市内企業の人材確保につなげていくワークショップの継続的な開催に向けて調整を図る。

4. 創業支援事業

(1) せと・しごと塾

地域の需要や課題をビジネスの視点でとらえた「地域ビジネス」の創業に必要な知識を座学と実学の両面から学ぶ機会や外部の起業家等との交流の機会を提供し、起業家を輩出するための環境づくりを行う。

対 象：瀬戸市で地域のためになる事業での創業を目指す者

事務局：瀬戸市、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫

(2) 起業セミナー

市内で「起業したい」と考えている人を対象に、起業のポイントを伝え、起業を実現するためのきっかけを提供する。

(3) せと・創業くらぶ

創業希望者及び創業者を対象とした登録制コミュニティを創設し、相談窓口やセミナーといった経営課題の解決につながる各種支援情報をメールや LINE で提供することで、新たな創業者の輩出及び創業後のフォローアップを目指す。

(4) せと・創業カフェ

創業という共通の目標を持つ者が集まることで、創業に対する意欲を高め、創業者同士のネットワークの構築を助長するとともに、悩み・課題の解決を図ることを目的とする。

(5) 個別相談

市内で創業相談に実績がある専門家が、創業に係る課題解決のため、創業希望者や創業者への助言・指導を実施する。(年42回)

第5号議案

令和6年度瀬戸市地域産業振興会議 収支予算 (案)

【収入】

(単位：円)

科 目	令和5年度	令和6年度	備 考
繰 越 金	2,958,744	2,115,916	
負 担 金	19,038,000	11,538,000	瀬戸市 10,500,000 瀬戸商工会議所 386,000 愛知県陶磁器工業協同組合 386,000 瀬戸暁工業団地協議会 78,000 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会 78,000 愛知県珪砂鋳業協同組合 39,000 瀬戸金融協会 39,000 瀬戸市商店街連合会 8,000 愛知県トラック協会尾東支部 8,000 日の出企業会 8,000 山の田企業懇話会 8,000
事業者負担金	0	0	
雑 収 入	1,256	2,084	預金利子他
基 金	100,000	2,000,000	瀬戸市地域産業振興基金
合 計	22,098,000	15,656,000	

【支出】

(単位：円)

括弧内：主な事業（内数）

科 目	令和5年度	令和6年度	備 考
会 議 費	5,000	5,000	総会、幹事会他
事 業 費	21,208,000	15,553,700	産業支援・交流事業 12,985,700 (内訳) 謝金・旅費 2,920,000 (専門相談 2,920,000) 印刷製本費 80,000 通信運搬費 244,000 資料購入費 10,000 委託料 4,871,700 (コーディネーター等委託 3,626,700) (せともん“ど”セレクション 500,000) 補助金 4,800,000 (専門家派遣・外部人材活用 200,000) (販路拡大支援 2,700,000) (知的財産権登録 300,000) (職場環境づくり応援 600,000) (新商品発掘創出 1,000,000) 備品購入費 30,000 消耗品費 20,000 雑費 10,000 産学・産産連携事業 1,163,000 (内訳) 謝金・旅費 60,000 印刷製本費 40,000 委託料 660,000 補助金 400,000 雑費 3,000 人材育成・雇用促進事業 1,405,000 (内訳) 謝金・旅費 1,030,000 印刷製本費 40,000 通信運搬費 60,000 委託料 20,000 補助金 100,000 負担金 150,000 雑費 5,000
事 務 費	20,000	0	産業支援センター運営事務費
還 付 金	407,000	0	
基金積立	300,000	0	
予 備 費	158,000	97,300	
合 計	22,098,000	15,656,000	

《特別会計》 創業支援事業 収支予算 (案)

【収入】

(単位：円)

科 目	令和5年度	令和6年度	備 考
繰越金	481,332	154,396	
負担金	2,200,000	2,000,000	瀬戸市からの負担金
雑収入	100,000	100,604	受講費(5,000円×20人)、預金利子他
合 計	2,781,332	2,255,000	

【支出】

(単位：円)

科 目	令和5年度	令和6年度	備 考	
事業費	2,300,000	2,100,604	謝金・旅費	724,190
			交流事業	131,000
			委託料	1,080,420
			消耗品費	35,000
			備品購入費	55,000
			使用料	60,500
			雑費	10,000
			予備費	4,494
還付金	481,332	154,396		
合 計	2,781,332	2,255,000		

令和6年度 瀬戸市地域産業振興会議役員名簿

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
顧問	国立大学法人名古屋工業大学	学長	小畑 誠
顧問	瀬戸市議会	議長	小澤 勝
顧問	瀬戸市	市長	川本 雅之
会長	瀬戸商工会議所	会頭	河村 誠悟
副会長	愛知県陶磁器工業協同組合	理事長	中野 昭雄
副会長	瀬戸暁工業団地協議会	会長	森下 幸雄
副会長兼 会計担当理事	瀬戸市	副市長	大森 雅之
理事	愛知県珪砂鋳業協同組合	理事長	山中 俊博
理事	日の出企業会	会長	水野 貴朗
理事	山の田企業懇話会	会長	清水 伸裕
理事	瀬戸市商店街連合会	会長	水野 忠治
理事	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会	会長	鈴木 政成
理事	愛知県トラック協会尾東支部 瀬戸旭・ 守山部会	部会長	小林 永典
理事	瀬戸焼振興協会	会長	中野 昭雄
監事	瀬戸市穴田企業団地連絡協議会	会長	佐野 嘉崇
監事	瀬戸金融協会	会長	成田 順一
参与	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	所長代理	加藤 且也
参与	独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	平野 修一
参与	一般財団法人 ファインセラミックスセンター	専務理事	獅山 有邦
参与	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 瀬戸窯業試験場	場長	加藤 正樹
参与	経済産業省中部経済産業局 産業部 産業 振興課	課長	今野 直明
参与	愛知県 経済産業局 産業部 産業政策課	課長	田口 秀春
参与	瀬戸公共職業安定所	所長	坂梨 範子